

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	キャリアプログラム I
授業名(英語表記)	Career Program I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科 II 部
履修年次	1年次
科目区分	必修
授業方法	講義
単位	6
授業回数	60
授業概要	授業内容: 将来のキャリア選択を見据えた本校のキャリア教育の概要を理解し、業界・業種・職種への理解を深めます。 到達目標: 自己理解を深めながら将来の職業を考え、目標とする業界・業種・職種について適切に理解できること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	・従来のキャリア教育の問題点と本校の考えについて ・2年間のカリキュラム内容とそれぞれの目的、社会基礎(経済産業省「100年時代のスキル・仕事上で必要な社会基礎」について) ・間企業と公務員(分・仕事の目的・給料・採用・将来等) ・仕事と学びを知る(将来の職業選択・履修する授業の意味・各分野のデモ授業で仕事と学びを知る) ・企業講話「BtoB型企業の魅力を学ぶ」 ・若年層の離職問題(新卒者による就職後3年間の離職率について、その理由と背景にある問題点を挙げ、事例に即して学習する。 ・会社とは(会社の定義、事業目的、規模による相違点等、会社の組織形態と役割) ・賃(給料)と活(賃と労働との関係、雇形態別の涯賃と活設計) ・就職活動の概要(就職活動への向き合い、就職の目的、語、スケジュール、採用試験等、卒就職との相違点) ・求票と求職法(求票の、記載事項、注意すべき視点等、採用情報や求職法) ・履歴書の書き(履歴書・エントリーシートの書きと注意点、履歴書の作成実習) ・PRの書き(過去の振り返り、PRの書きと注意点(悪い例の提)) ・志望動機の書き(志望動機の書きと注意点(採用側の位置づけ、悪い例の提)) ・面接試験対策 ・キャリア個別面談【職業選択等就職活動に向けて】
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	キャリアプログラムⅡ
授業名(英語表記)	Career Program Ⅱ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
単位	3
授業回数	30
授業概要	授業内容: この科目では、学生が社会人として自立し、主体的にキャリアを形成していくために必要な総合的な知識とスキルを習得します。具体的には、社会生活やビジネスシーンにおけるコミュニケーション能力の基礎から応用、企業・職業選択のための視点の養成と実践的な就職活動準備、そして社会人として不可欠な法律、給料、ライフイベントに関する知識までを網羅します。講義だけでなく、演習、ロールプレイング、ディスカッション、企業調査などを通じて、理論だけでなく実践的な能力の向上を目指します。 到達目標: 社会生活およびビジネスシーンにおいて、効果的なコミュニケーションを実践できる。 自己理解を深め、多様な業界や企業に関する知識を基に、適切な職業選択ができる。 就職活動に必要な準備(自己分析、企業研究、応募書類作成、面接対策)を整え、主体的に取り組めるようになる。 社会人として知っておくべき給料体系、法律知識、ライフイベントに関する知識を習得し、自身のキャリアプランニングに活用できる。 変化の激しい社会に対応するための継続的な学習意欲と自己成長能力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	授業計画: オリエンテーションとキャリアデザインの基礎 科目の概要と学習目標 キャリアデザインの重要性 自己分析の方法(強み、弱み、価値観、興味) ディスカッション:「理想のキャリアパス」 コミュニケーションの基礎と応用 コミュニケーションの定義、種類、要素 心理的障壁の克服 傾聴スキル、質問スキル、話すスキル 非言語コミュニケーション 1対1およびグループコミュニケーション ビジネスシーンでのコミュニケーション(敬語、電話対応、報連相) 感情コントロールと対人関係 異文化コミュニケーション アサーティブコミュニケーション クレーム対応、交渉術 プレゼンテーションの基礎と実践 コミュニケーションスキル総合演習 ロールプレイング、演習 企業・職業選択の視点と企業調査 企業・職業選択の重要性 多様な業界・職種の理解 学生が活躍している企業、社会から必要とされる仕事 企業・産業調査の方法
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	コミュニケーション I
授業名(英語表記)	Communication I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科 II 部
履修年次	1 年次
科目区分	必修
授業方法	演習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容: 社会生活やビジネスシーンにおいて不可欠なコミュニケーション能力の基礎を習得します。円滑な人間関係を築き、相互理解を深めるためのスキルを学びます。 到達目標: 円滑な人間関係を築き、相互理解を深められるようになること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	コミュニケーションとは何か/ 種類と要素 コミュニケーションにおける心理的障壁/ 克服方法 聞くスキル(アクティブリスニング) 効果的な質問の仕方/ 質問の種類 話すスキル/ 自分の考えを明確に伝える 相手に伝わる話し方/ プレゼンテーションの基礎 非言語コミュニケーション/ 視線、表情、身振り、手振り 服装、態度/ 非言語コミュニケーションが与える影響 1対1のコミュニケーション/ ロールプレイング グループコミュニケーション/ ディスカッション ビジネスシーンでのコミュニケーション/ 敬語、電話対応 報連相の重要性と実践 感情コントロールと対人関係/ ストレスマネジメント 異文化コミュニケーション/ 異文化理解 アサーティブコミュニケーション/ 自己主張と相手尊重 クレーム対応/ ロールプレイング 交渉術/ 交渉の基本とテクニック プレゼンテーション演習 コミュニケーションスキル総合演習 振り返り/ 自己評価と今後の課題
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	コミュニケーションⅡ
授業名(英語表記)	CommunicationⅡ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容: コミュニケーションⅡでは、社会人として求められる高度なコミュニケーション能力を養成します。職場環境における多様な状況を想定し、効果的な対人関係構築、問題解決、リーダーシップの発揮に必要なスキルを習得します。単なる知識の習得に留まらず、実践的な演習を通じて、自己のコミュニケーションスタイルを理解し、改善を図ることを目指します。 到達目標: 職場における様々なステークホルダーとの効果的なコミュニケーションを実践できる。 複雑な状況下でも、相手の意図を正確に理解し、自身の考えを明確に伝えられる。 チーム内での協調性を高め、目標達成に貢献できるコミュニケーション能力を身につける。 ビジネスシーンにおける倫理観に基づいたコミュニケーションを理解し、実践できる。 自己のコミュニケーションの強みと課題を認識し、継続的な改善を図るための具体的な計画を立てられる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	社会人としてのコミュニケーション概論 ビジネスコミュニケーションの基本原則(TPO、5W1H) 社内外におけるコミュニケーションの違いと留意点 企業倫理とコミュニケーション ディスカッション:「学生と社会人のコミュニケーションの違い」 上司・部下・同僚とのコミュニケーション 効果的な報告・連絡・相談(ホウレンソウ) フィードバックの伝え方と受け止め方 タイプ別コミュニケーション(相手の性格特性を理解する) ロールプレイング:「上司への報告」「部下への指示」「同僚との協力」 社外とのコミュニケーション 顧客対応:クレーム対応、問い合わせ対応 取引先との交渉術 ビジネス文書の作成とメールマナー グループワーク:「顧客への提案資料作成」「取引先との交渉シミュレーション」 プレゼンテーション実践 説得力のあるプレゼンテーションの構成とデリバリー 質疑応答への対応 プレゼンテーション資料のデザイン プレゼンテーション演習(個人・グループ)と相互評価 会議・ミーティングにおけるコミュニケーション 会議の準備とファシリテーション 議論を活性化させる質問力と傾聴力 合意形成と意思決定 グループワーク:「模擬会議」と振り返り
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	簿記3級
授業名(英語表記)	Bookkeeping Level 3
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容: 簿記の基礎知識と基本原則を習得し、企業の経理業務に必要な会計処理能力を養います。日商簿記3級の資格取得を目標とします。 到達目標: 日商簿記3級の資格を取得できるレベルの知識と技能を身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	簿記とは何か / 簿記の目的と役割 / 簿記の種類と特徴 勘定科目 / 取引と仕訳 / 複式簿記の仕組み 現金取引 / 預金取引 / 売買取引の仕訳 総勘定元帳への転記 / 試算表の作成 / 試算表の種類と役割 決算整理仕訳 / 貸借対照表の作成 / 損益計算書の作成 その他の取引の仕訳(固定資産、減価償却など) 過去問題演習 / 簿記3級過去問題解説 模擬試験 試験対策
成績評価方法	A 資格試験の取得状況4: 対面出席率2: 課題提出2: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	FP基礎
授業名(英語表記)	FP Basics
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容:ファイナンシャル・プランニング(FP)の基礎知識を習得し、個人のライフプランニングや資産設計に役立つ知識を学びます。 到達目標:個人のライフプランニングや資産設計に役立つ知識を習得し、適切な計画を立てられるようになること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	FP概論 / FPとは何か / FPの役割と業務 / FP倫理と関連法規 ライフプランニングと資金計画/ ライフプランの作成/ キャッシュフロー分析/ リスク管理 金融商品 / 預貯金 / 投資信託 / 株式投資 / 債券投資 保険 / 生命保険 / 損害保険 / 保険の種類と特徴/ 保険選びのポイント
成績評価方法	A 資格試験の取得状況4:対面出席率2:課題提出2:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	PC I
授業名(英語表記)	PC I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	必修
授業方法	演習
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容: パソコンの基本操作から応用、情報リテラシー、ネットワーク、セキュリティに関する知識を習得し、社会で求められる基本的な PC スキルを身につけます。 到達目標: 社会で求められる基本的な PC スキルを身につけ、活用できるようになること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	- PC 基本操作 ・パソコンの起動と終了 ・マウス操作とキーボード操作 ・ファイルとフォルダーの管理 - OS ・OS の役割と種類 ・OS の基本操作 ・設定変更 - 情報リテラシー ・情報モラル ・著作権 ・情報検索 - ネットワーク ・インターネットの仕組み ・メール ・Web ブラウザ - セキュリティ ・ウイルス対策 ・情報漏えい対策 ・パスワード管理 - Word ・文書作成 ・編集 ・印刷 - Excel
成績評価方法	A 資格試験の取得状況 4 : 対面出席率 2 : 課題提出 2 : 単位認定試験 2
成績評価基準	総合成績 90 点以上を「秀」、80 点～89 点を「優」、60 点～79 点を「良」、50 点～59 点を「可」、50 点未満は「不可」の 5 段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	PCⅡ
授業名(英語表記)	PCⅡ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容: パソコン全般の応用力を身につけることを主に、情報リテラシー、ネットワーク、セキュリティに関する知識を習得し、社会で求められる基本的な PCスキルを身につけます。 到達目標: 社会で求められる PCスキルを身につけ、活用できるようになること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	PCの基本操作とタイピング練習 PCの構成要素と基本的な仕組み OSの基本操作(Windows/macOS) ファイルとフォルダの管理方法 効率を高めるショートカットキー 正しいタイピングフォームと基本練習 宿題: タイピング練習サイトでの練習 インターネットの活用と情報セキュリティ インターネットの仕組みとブラウザの基本操作 効果的な検索方法と情報の見極め メールの基本とマナー 情報セキュリティの基礎(パスワード管理、フィッシング対策) ディスカッション: 安全なインターネット利用について ワープロソフトウェアの基礎(例 Microsoft Word, Google Docs) 基本的な文字入力と編集 書式設定(フォント、段落、スタイル) 表の挿入と編集 画像の挿入と配置 ビジネス文書の基本構成 演習: 簡単なビジネス文書の作成 ワープロソフトウェアの応用 長文作成に役立つ機能(目次、脚注、引用) 差し込み印刷の活用 テンプレートの利用と作成 校閲機能を使った共同編集
成績評価方法	A 資格試験の取得状況4: 対面出席率2: 課題提出2: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ビジネス実務法務
授業名(英語表記)	Business Practice Law
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	必修
授業方法	講義及び演習
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容: この科目では、ビジネス実務法務検定 3級試験の合格を目指し、ビジネスの現場で遭遇する様々な法律問題に対応するための基礎知識を体系的に習得します。具体的には、法律の基礎、契約、債権、知的財産、企業形態、労働法規など、幅広い法務知識を学習します。単に知識を詰め込むだけでなく、ケーススタディや演習を通じて、実際のビジネスシーンで法務知識をどのように活用できるかを理解し、実践的な問題解決能力を養います。コンプライアンス意識を高め、ビジネスにおけるリスクを適切に管理できる人材育成を目指します。講義、演習、ケーススタディなどを通じて、理論だけでなく実践的な能力の向上を目指します。 到達目標: ビジネス実務法務検定 3級試験に合格するために必要な法律基礎知識を習得する。 契約、債権、知的財産、企業形態、労働法規など、ビジネスに関連する基本的な法務知識を理解し、業務におけるリスクを認識・管理できる。 ビジネスの現場で遭遇する法律問題を特定し、基本的な法的観点から問題解決のアプローチを検討できる。 コンプライアンスの重要性を理解し、日常業務において法令遵守を意識した行動をとれる。 法務知識を継続的に学習し、変化するビジネス環境に対応できる基礎を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	オリエンテーションとビジネス実務法務入門 科目の概要と学習目標 現代ビジネスにおける法務知識の重要性 ビジネス実務法務とは何か(コンプライアンス、リスク管理) ビジネスと法律の関連性 契約の基本と種類 契約の成立要件、売買契約、権利・義務、意思表示 代理制度、契約の効力、売買契約の履行 賃貸・労務契約、不法行為 ケーススタディ: 契約に関するトラブル事例 契約関連の文書管理と債権管理 ビジネス文書の保存と管理、契約書の重要性 債権の管理と回収、不当利得 信用調査の方法 支払方法とリスク(手形・小切手、トラブル対応) 担保と債権回収、資産管理 担保の種類と役割(決定担保、約定担保、非典型担保) 緊急時の債権回収手段、人的担保の活用 資産管理と法律(売買契約と所有権移転、流動資産・固定資産) ケーススタディ: 債権回収に関する事例 知的財産の保護と独占禁止法、消費者保護法制 知的財産権の種類(特許、実用新案、意匠、商標、著作権、営業秘密) 独占禁止法、大店立地法の概要 消費者保護法制(消費者契約法、割賦販売法、特定商取引法、製造物責任法など) ケーススタディ: 知的財産侵害事例
成績評価方法	D 資格試験の取得状況2:課題提出4:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ1
授業名(英語表記)	Skill Up I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:各自が目指す検定試験の合格に必要な知識を定着させ、合格レベルに達すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型) 単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ2
授業名(英語表記)	Skill Up II
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:各自が目指す検定試験の合格に必要な知識を定着させ、合格レベルに達すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型) 単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ3
授業名(英語表記)	Skill Up Ⅲ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:各自が目指す検定試験の合格に必要な知識を定着させ、合格レベルに達すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型) 単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ4
授業名(英語表記)	Skill Up IV
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:各自が目指す検定試験の合格に必要な知識を定着させ、合格レベルに達すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型) 単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ5
授業名(英語表記)	Skill Up V
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:各自が目指す検定試験の合格に必要な知識を定着させ、合格レベルに達すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型) 単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ6
授業名(英語表記)	Skill Up VI
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:各自が目指す検定試験の合格に必要な知識を定着させ、合格レベルに達すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型) 単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ7
授業名(英語表記)	Skill Up VII
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に必要な知識を習得し定着させること、また検定試験合格に必要な理解度を身につけ合格すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型)単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ8
授業名(英語表記)	Skill Up Ⅷ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に必要な知識を習得し定着させること、また検定試験合格に必要な理解度を身につけ合格すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型)単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ9
授業名(英語表記)	Skill Up IX
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義や VOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:リモート講義や VOD講義を活用し、各種検定合格に必要な知識を習得し定着させること、また検定試験合格に必要な理解度を身につけ合格すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型)単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	スキルアップ10
授業名(英語表記)	Skill Up X
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に向けた知識定着を目指します。 到達目標:リモート講義やVOD講義を活用し、各種検定合格に必要な知識を習得し定着させること、また検定試験合格に必要な理解度を身につけ合格すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	各自合格を目指している検定試験の知識定着および各自の理解度確認(VOD、リモート、対面型)単位認定試験
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅰ
授業名(英語表記)	InternshipⅠ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅱ
授業名(英語表記)	Internship Ⅱ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅲ
授業名(英語表記)	InternshipⅢ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅳ
授業名(英語表記)	Internship Ⅳ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅴ
授業名(英語表記)	Internship Ⅴ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅵ
授業名(英語表記)	Internship Ⅵ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅶ
授業名(英語表記)	Internship Ⅶ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅷ
授業名(英語表記)	Internship Ⅷ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅸ
授業名(英語表記)	Internship Ⅸ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業) X
授業名(英語表記)	Internship X
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業) XI
授業名(英語表記)	Internship XI
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	インターンシップ(提携企業)Ⅻ
授業名(英語表記)	Internship Ⅻ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	実習
単位	1
授業回数	10
授業概要	授業内容:実務先企業で研修を通して実務を学び、社会人としてのマナーやルールを習得し、担当業務をマスターする。 到達目標:実務先企業での研修を通じて実務を習得し、社会人としてのマナーやルールを身につけ、担当業務をマスターする。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	「期間レポート」作成:目標期間・具体策等の設定・記入、配属先状況確認、インターンシップ反省事項記入、提出 学生社員生活アドバイス、配属先勤務状況確認 勤務状況:出退勤時間、シフト確認、上司同僚コミュニケーション確認
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	社会・企業研究 I
授業名(英語表記)	Societal and Business Research I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容: インターンシップ不参加の夜間学生を対象に、企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめる。 到達目標: 企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめることによって自分自身の人間力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	事前学習(授業の進め方、テーマとなる実業家のプロフィール等の紹介) テーマとなる実業家の書籍を各自で読む、担当者からの課題 単位認定試験(レポート作成、提出等)
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	社会・企業研究Ⅱ
授業名(英語表記)	Societal and Business ResearchⅡ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容: インターンシップ不参加の夜間学生を対象に、企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめる。 到達目標: 企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめることによって自分自身の人間力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	事前学習(授業の進め方、テーマとなる実業家のプロフィール等の紹介) テーマとなる実業家の書籍を各自で読む、担当者からの課題 単位認定試験(レポート作成、提出等)
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	社会・企業研究Ⅲ
授業名(英語表記)	Societal and Business Research Ⅲ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容: インターンシップ不参加の夜間学生を対象に、企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめる。 到達目標: 企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめることによって自分自身の人間力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	事前学習(授業の進め方、テーマとなる実業家のプロフィール等の紹介) テーマとなる実業家の書籍を各自で読む、担当者からの課題 単位認定試験(レポート作成、提出等)
成績評価方法	D 資格試験の取得状況2:課題提出4:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	社会・企業研究Ⅳ
授業名(英語表記)	Societal and Business Research Ⅳ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容: インターンシップ不参加の夜間学生を対象に、企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめる。 到達目標: 企業経営者の書籍から「生きる力」「仕事への取り組み方」「困難の乗り越え方」などを学び、レポートにまとめることによって自分自身の人間力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	事前学習(授業の進め方、テーマとなる実業家のプロフィール等の紹介) テーマとなる実業家の書籍を各自で読む、担当者からの課題 単位認定試験(レポート作成、提出等)
成績評価方法	D 資格試験の取得状況2:課題提出4:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ビジネス日本語 I
授業名(英語表記)	Business Japanese I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容: ビジネスシーンで必要とされる日本語のスキルを習得します。敬語の使い方、ビジネス文書の作成、電話対応、プレゼンテーションなど、実践的な日本語コミュニケーション能力を養います。職場での円滑な人間関係構築や、相手に適切に情報を伝えるためのスキルを身につけます。 到達目標: ビジネスシーンで適切な日本語を使いこなせる。敬語、ビジネス文書、電話対応など、場面に応じた日本語表現ができる。相手に情報を的確に伝え、円滑なコミュニケーションを図ることができる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	オリエンテーション JLPT・BJT対策 スピーチ ディスカッション 作文 社説 まとめ
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ビジネス日本語Ⅱ
授業名(英語表記)	Business JapaneseⅡ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容：ビジネスシーンで必要とされる日本語のスキルを習得します。敬語の使い方、ビジネス文書の作成、電話対応、プレゼンテーションなど、実践的な日本語コミュニケーション能力を養います。職場での円滑な人間関係構築や、相手に適切に情報を伝えるためのスキルを身につけます。 到達目標：ビジネスシーンで適切な日本語を使いこなせる。敬語、ビジネス文書、電話対応など、場面に応じた日本語表現ができる。相手に情報を的確に伝え、円滑なコミュニケーションを図ることができる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	オリエンテーション JLPT・BJT対策 スピーチ ディスカッション 作文 社説 まとめ
成績評価方法	
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ビジネス日本語Ⅲ
授業名(英語表記)	Business Japanese Ⅲ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容: JLPT N2またはN1合格と、日本企業で通用する 4技能向上を目指す。学習量に応じて 1～5単位認定する。 到達目標: JLPT N2またはN1合格を目標とするとともに日本企業で社会人として円滑なコミュニケーションを図る力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	オリエンテーション JLPT・BJT対策 スピーチ ディスカッション 作文 社説 まとめ
成績評価方法	D 資格試験の取得状況2:課題提出4:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ビジネス日本語Ⅳ
授業名(英語表記)	Business Japanese IV
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	2
授業回数	20
授業概要	授業内容: JLPT N2またはN1合格と、日本企業で通用する 4技能向上を目指す。学習量に応じて 1～5単位認定する。 到達目標: JLPT N2またはN1合格を目標とするとともに日本企業で社会人として円滑なコミュニケーションを図る力を身につける。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	オリエンテーション JLPT・BJT対策 スピーチ ディスカッション 作文 社説 まとめ
成績評価方法	D 資格試験の取得状況2:課題提出4:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ITパスポート
授業名(英語表記)	IT Passport
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容: ITパスポート試験合格を目標とし、ITに関する基礎知識を幅広く習得します。情報技術の仕組みや動向、企業の経営戦略、情報セキュリティ、ネットワークなどについて学びます。 到達目標: ITパスポート試験に合格できる知識を習得すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. ITパスポート試験概要、ストラテジ系 2. 企業と法務、経営戦略、マーケティング 3. テクノロジ系 4. コンピュータ構成要素、ソフトウェア、ハードウェア 5. ネットワーク、データベース、情報セキュリティ 6. マネジメント系 7. システム開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント 8. 模擬試験、過去問演習
成績評価方法	A 資格試験の取得状況4: 対面出席率2: 課題提出2: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	AI・SNS基礎
授業名(英語表記)	AI & SNS Basics
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	演習
単位	4
授業回数	40
授業概要	授業内容: 本科目「AI・SNS基礎」では、AI(人工知能)とSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の基礎知識を学びます。AIの仕組みや活用事例、SNSの特性やマーケティング手法について理解を深めます。担当講師は、SNS運用会社で実際にいくつもの企業のマーケティング業務に携わっており、SNSマーケティングの最前線で活躍しています。そのため、最新のトレンドや実践的なノウハウを直接学ぶことができる、実務に即した授業を実施することが可能です。過去には数々のプロジェクトを成功に導いた実績もあり、その経験に基づいた貴重な知見を共有します。講義では、理論だけでなく、実際のビジネスシーンでどのようにAIやSNSを活用できるかを具体的に解説します。 到達目標: AIとSNSの基礎知識を理解し、ビジネスで活用できるレベルの知識を身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. AIとは何か、AIの歴史と現状 2. 機械学習、ディープラーニング、自然言語処理 3. AIの活用事例、ビジネスへの応用 4. SNSとは何か、主要なSNSの種類と特徴 5. SNSのリスクと注意点、炎上対策 6. SNSマーケティング、情報発信のコツ 7. AIとSNSの倫理、今後の展望
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	簿記2級
授業名(英語表記)	Bookkeeping Level 2
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	8
授業回数	80
授業概要	授業内容: 簿記3級の知識をベースに、より高度な会計処理能力を習得します。財務諸表分析や工業簿記など、企業の財務状況を把握し、分析できる能力を養います。 到達目標: 簿記2級の知識を習得し、企業の財務状況を分析できる能力を身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. 簿記2級の概要、商業簿記の復習 2. 有価証券、固定資産、リース取引 3. 引当金、外貨建取引、本支店会計 4. 財務諸表分析、損益計算書、貸借対照表 5. キャッシュフロー計算書、財務分析の指標 6. 工業簿記の基礎、原価計算 7. 個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算 8. 過去問題演習、模擬試験、試験対策
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2: 対面出席率3: 課題提出3: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	FP・金融
授業名(英語表記)	FP & Finance
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容:ファイナンシャルプランニング(FP)と金融に関する基礎知識を学びます。ライフプランニング、金融商品の種類と特徴、資産運用、保険、不動産、税金などについて学びます。 到達目標: FPと金融に関する基礎知識を習得し、個人のライフプランニングや資産設計に役立てられること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. FPの基本、ライフプランニングの手法 2. 金融商品の基礎知識、預貯金、債券、株式 3. 投資信託、外貨預金、保険商品 4. 不動産投資、ローンの仕組み 5. 資産運用、ポートフォリオ理論 6. 税金の種類と仕組み、所得税、住民税 7. 贈与税、相続税、税金対策 8. 事例研究、ライフプラン作成演習
成績評価方法	A 資格試験の取得状況4: 対面出席率2: 課題提出2: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	WEB・SNS基礎
授業名(英語表記)	Web & SNS Basics
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	13
授業回数	130
授業概要	授業内容: 本科目では、実務経験と高いスキルを持つ担当講師から、WebサイトとSNSの基礎知識を学びます。Webサイトの仕組み、HTML、CSS、Webデザインの基本、SNSの特性や活用方法などを学習します。この科目の担当講師はSNS運用会社で実際にいくつかの企業のマーケティング業務に携わっているため、実務に即した授業を実施することが可能です。 到達目標: WebサイトとSNSの基礎知識を習得し、Webサイトの作成やSNSの運用ができるようになること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. Webサイトの仕組み、インターネットの基礎 2. HTML、CSSの基礎、Webサイト作成 3. Webデザインの基本、ユーザビリティ、アクセシビリティ 4. 主要なSNSの種類と特徴、SNSアカウント作成 5. SNSの運用方法、情報発信のコツ 6. SNSのリスクと注意点、著作権、プライバシー 7. SNS広告、効果測定 8. 演習、Webサイト作成、SNS運用
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ホテル実務 I
授業名(英語表記)	Hotel Management I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科 II 部
履修年次	1 年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	22
授業回数	220
授業概要	授業内容: 元ホテル勤務経験者である担当講師から、ホテル業界の基礎知識と実務を学びます。ホテルの種類、組織、各部門の業務内容、接客スキルなど、ホテルスタッフとして必要な知識を習得します。ホテル業界のリアルな実情や裏側について、経験に基づいた話を聞くことができます。 到達目標: ホテル業界の基礎知識と実務を理解し、ホテルスタッフとして必要なスキルを身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. ホテル業界の概要、ホテルの種類と特徴 2. ホテル組織、各部門の役割 3. フロント業務、予約受付、チェックイン・チェックアウト 4. 客室業務、ハウスキーピング、メンテナンス 5. 料飲部門、レストランサービス、宴会サービス 6. 接客スキル、おもてなし、クレーム対応 7. ホテル業界の専門用語、英語 8. 実習、ロールプレイング
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績 90 点以上を「秀」、80 点～89 点を「優」、60 点～79 点を「良」、50 点～59 点を「可」、50 点未満は「不可」の 5 段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	接客英会話
授業名(英語表記)	Hospitality English Conversation
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	6
授業回数	60
授業概要	授業内容: ホテルやレストランなど、接客の現場で使える英会話を学びます。お客様への挨拶、案内、注文、質問対応など、実践的な英会話スキルを習得します。 到達目標: ・接客の現場で使える英会話スキルを習得する。 ・お客様に対して適切な英語でのコミュニケーションが取れる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. 挨拶、自己紹介、お客様への声かけ 2. 道案内、施設案内、周辺情報 3. 注文受付、メニュー説明、料理の提供 4. 質問対応、要望対応、クレーム対応 5. 会計、お見送り、感謝の言葉 6. 電話対応、予約受付、問い合わせ対応 7. ホテル・レストランで使う専門用語、英語表現 8. ロールプレイング、実践練習
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	簿記応用
授業名(英語表記)	Advanced Bookkeeping
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	15
授業回数	150
授業概要	授業内容: 日商簿記2級の合格を目標とし、1年生時に合格できなかった学生を対象に集中的な演習を行います。過去問題や模擬試験を用いた実践的な練習を通じて、知識の定着と応用力の向上を図ります。また、苦手分野の克服や疑問点の解消を個別指導で行い、確実に合格レベルに到達できるようサポートします。 基礎知識の確認: 1年生で学んだ簿記の基礎知識を復習し、理解の曖昧な点を明確にする。 過去問題演習: 過去の試験問題を解き、出題傾向や時間配分を把握する。 模擬試験: 本番を想定した模擬試験を行い、実力と課題を把握する。 個別指導: 苦手分野や疑問点について個別指導を行い、理解を深める。 最新情報への対応: 試験制度の変更や最新の会計基準に関する情報を提供する。 到達目標: 日商簿記2級の試験に合格できるレベルの知識と技能を習得する。 簿記の基礎知識を確実に理解し、応用問題に対応できる能力を身につける。 時間配分を考慮しながら問題を解く実践的なスキルを習得する。 自己の弱点を把握し、克服するための学習計画を立てられるようになる。 試験制度や最新の会計基準に関する情報を理解し、常に学習意欲を持ち続けられる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1 簿記の基本概念と復習、1年生時の学習内容確認 2 過去問題演習(商業簿記): 仕訳、勘定記入 3 過去問題演習(商業簿記): 財務諸表作成、決算手続き 4 過去問題演習(工業簿記): 原価計算、製造原価報告書作成 5 過去問題演習(工業簿記): 個別原価計算、総合原価計算 6 模擬試験(1回目): 試験時間、問題形式の確認 7 模擬試験の解説、苦手分野の分析、個別指導 8 過去問題演習: 総合問題 9 模擬試験(2回目): 時間配分、解答手順の確認 10 模擬試験の解説、個別指導 11 重点分野の集中演習: 受講生の課題に合わせて実施 12 試験直前対策: 最終確認、質疑応答、アドバイス 13 日商簿記2級試験 試験日 14 試験の振り返り、合格後の展望
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2: 対面出席率3: 課題提出3: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	FP2級
授業名(英語表記)	FP Level 2
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	15
授業回数	150
授業概要	授業内容: 本科目では、日商簿記2級に合格した学生を対象に、FP2級の合格を目指した学習を行います。ファイナンシャルプランニングに関する基礎知識から応用まで幅広く学び、試験に必要な知識と技能を習得します。具体的な事例研究や演習問題を通じて、実践的な応用力を養います。 FPの基礎知識: ファイナンシャルプランニングの意義、関連法規、倫理などを学ぶ。 金融資産運用: 預貯金、株式、債券、投資信託など、金融商品の種類と特徴を理解する。 不動産運用: 不動産の取得、運用、売却に関する知識を習得する。 ライフプランニング: ライフプランの作成、資金計画、リスク管理について学ぶ。 税金: 所得税、住民税、相続税など、税金の仕組みと計算方法を理解する。 保険: 生命保険、損害保険の種類と特徴、保険設計の基礎を学ぶ。 到達目標: FP2級の試験に合格できるレベルの知識を習得する。 金融、不動産、保険、税金など、幅広い分野の知識を身につけ、個人のライフプランニングに役立てられるようになる。 具体的な事例や問題に対応できる実践的な応用力を養う。 顧客の状況に合わせた最適な提案ができるようになるための基礎を身につける。 最新の金融・経済情勢に関する情報収集能力を養う。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1FP概論、ファイナンシャルプランニングの基礎知識、関連法規 2金融資産運用(預貯金、債券、株式、投資信託) 3不動産運用(不動産の取得、運用、売却) 4ライフプランニング(ライフプランの作成、資金計画) 5リスク管理(保険の種類、保険設計) 6税金(所得税、住民税、相続税、贈与税) 7模擬試験(1回目): 試験時間、問題形式の確認 8模擬試験の解説、苦手分野の分析、個別指導 9分野別演習: 金融資産運用、不動産運用 10分野別演習: ライフプランニング、リスク管理 11分野別演習: 税金 12模擬試験(2回目): 時間配分、解答手順の確認 13模擬試験の解説、個別指導 14試験直前対策: 最終確認、質疑応答、アドバイス
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2: 対面出席率3: 課題提出3: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	WEB・SNS応用
授業名(英語表記)	Advanced Web and Social Media
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	8
授業回数	80
授業概要	授業内容: 本科目では、基礎レベルで習得した WebサイトとSNSの知識を発展させ、より効果的な活用方法を学びます。Webサイトの企画・構成、SEOの基礎、コンテンツマーケティングの考え方、各種 SNSプラットフォームの詳細な機能とアルゴリズム、ターゲットに合わせた情報発信戦略などを学習します。また、アクセス解析ツールの基本的な使い方を理解し、データに基づいた改善策の検討を行います。 Webサイト応用:Webサイトの企画・構成、UI/UXの基礎、SEOの基本原理と対策、コンテンツマーケティング戦略 SNS応用:主要SNSプラットフォームの詳細機能と活用事例、SNS広告とターゲティング ターゲットに合わせた情報発信戦略 分析と改善:アクセス解析ツールの基本的な使い方、データに基づいた Webサイト・SNS運用の改善策検討 到達目標: 基礎知識を応用し、目的に合わせた Webサイトの企画・構成ができるようになります。SEOの基本を理解し、検索エンジンからの流入を増やすための基本的な対策を講じられるようになります。ターゲットに合わせた効果的なSNS運用戦略を立案できるようになります。各種 SNS広告の特性を理解し、目的に応じた広告運用ができるようになります。アクセス解析ツールを用いて、運用効果を測定し、改善策を検討できるようになります。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1応用レベルガイダンス、基礎レベルの復習、Webサイト企画の考え方 2WebサイトのUI/UX基礎、ワイヤーフレーム作成演習グループワーク 3SEOの基本原理とオンページオフページ対策事例研究 4コンテンツマーケティング戦略、ペルソナ設定演習作成演習 5主要SNSプラットフォーム詳細(Facebook, Twitter)機能と活用 6主要SNSプラットフォーム詳細(Instagram, LINE)機能と活用 7SNS広告の種類とターゲティング、広告文作成演習作成演習 8インフルエンサーマーケティング基礎、キャンペーン企画演習グループワーク 9アクセス解析ツール(Google Analytics)基本的な使い方、レポート作成演習作成演習 10SNS分析ツール活用、効果測定と課題抽出ケーススタディ 11データに基づいたWebサイト運用改善策検討発表演習 12データに基づいたSNS運用改善策検討発表演習 13応用レベル総合演習:Webサイト・SNS連携戦略の立案グループワーク 14応用レベルまとめ、質疑応答
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	WEB・SNS実践
授業名(英語表記)	Web and Social Media Practice
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	7
授業回数	70
授業概要	授業内容:本科目では、応用レベルの知識とスキルを基に、実際の Webサイト運用やSNSアカウント管理を実践します。仮想または実際の WebサイトやSNSアカウントを用いて、コンテンツの企画・作成・投稿、ユーザーコミュニケーション、広告運用、キャンペーン実施などを経験します。高度なアクセス解析や SNS分析を行い、詳細な効果測定と改善提案レポートの作成を目指します。炎上対策やリスク管理、最新トレンドへの対応も学び、即戦力として活躍できる実践力を養います。 実践運用:仮想または実際の Webサイト・SNSアカウントを用いた運用実践、コンテンツ企画・作成・投稿の実務、ユーザーコミュニケーション、コメント・メッセージ対応 SNS広告の実践運用と効果測定 高度分析と改善:高度なアクセス解析設定とデータ分析、専門的な SNS分析ツールの活用と詳細レポート作成 データに基づいた改善策検討 リスク管理とトレンド対応:炎上対策、危機管理広報の基礎、最新の Web・SNSトレンドへの対応 到達目標:仮想または実際の環境で WebサイトやSNSアカウントの運用を実践し、一連の業務を遂行できるようになります。ターゲットに響くコンテンツを企画・作成し、効果的に情報発信ができるようになります。ユーザーとの良好な関係を構築し、エンゲージメントを高める施策を実行できるようになります。高度な分析ツールを用いて運用効果を詳細に測定し、具体的な改善提案を含むレポートを作成できるようになります。Web・SNS運用におけるリスクを理解し、適切な対策を講じられるようになります。最新のトレンドを把握し、自身のスキルを持続的にアップデートできるようになります。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1 実践レベルガイダンス、応用レベルの復習、仮想プロジェクトの説明、チーム編成(チーム活動) 2 仮想Webサイトのコンテンツ企画・作成、CMS(コンテンツ管理システム)の基本操作演習(作成演習) 3 仮想SNSアカウントのコンテンツ企画・作成、投稿演習(各プラットフォーム特性考慮)(作成演習) 4 ユーザーコミュニケーション実践、コメント・メッセージ対応ロールプレイング(ロールプレイング) 5 仮想SNS広告出稿実践、ターゲティングと予算設定演習 (チーム活動) 6 仮想SNSキャンペーン企画・実施、成果測定演習(チーム活動) 7 中間発表:仮想プロジェクトの進捗報告、課題と改善策検討(発表演習) 8 高度アクセス解析設定、カスタムレポート作成演習(作成演習) 9 専門SNS分析ツール活用、詳細データ分析演習(作成演習) 10 A/Bテスト企画・実施、効果検証演習(チーム活動) 11 競合サイト・アカウント分析、成功事例研究(事例研究) 12 炎上対策、危機管理広報の基礎、リスク管理ワークショップ(ワークショップ) 13 最新Web・SNSトレンド情報収集と活用、新しいプラットフォーム研究(発表演習) 14 最終発表:仮想プロジェクトの成果報告、質疑応答、実践レベルまとめ(発表演習)
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	ホテル実務Ⅱ
授業名(英語表記)	Hotel ManagementⅡ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	8
授業回数	80
授業概要	授業内容:元ホテル勤務経験者である担当講師から、ホテル業界の基礎知識と実務を学びます。ホテルの種類、組織、各部門の業務内容、接客スキルなど、ホテルスタッフとして必要な知識を習得します。ホテル業界のリアルな実情や裏側について、経験に基づいた話を聞くことができます。 到達目標:ホテル業界の基礎知識と実務を理解した上で、実際の現場で働くホテルスタッフとして必要なスキル、心構えを身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. ホテル業界の概要、ホテルの種類と特徴 2. ホテル組織、各部門の役割 3. フロント業務、予約受付、チェックイン・チェックアウト 4. 客室業務、ハウスキーピング、メンテナンス 5. 料飲部門、レストランサービス、宴会サービス 6. 接客スキル、おもてなし、クレーム対応 7. ホテル業界の専門用語、英語 8. 実習、ロールプレイング
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	観光地理
授業名(英語表記)	Tourism Geography
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	7
授業回数	70
授業概要	授業内容: 観光対象地域の地理、文化、歴史、社会を総合的に学習します。世界各地と日本の主要観光地の自然・人文環境、観光資源の魅力を探求。観光の地域影響や持続可能な観光も考察。地図や映像を活用し、視覚的に理解を深めます。 到達目標: 世界・日本の主要観光地域の地理、文化、歴史、社会の基礎知識を習得。地図や地理情報を読み解き、観光関連の地理的事象を理解。各地域の観光資源の魅力を分析。観光の地域影響と持続可能な観光の重要性を認識。観光地理の知識を収集・整理し説明できるようになり、将来の観光関連分野で活用できる基礎を築きます。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	- ガイダンス: 本科目の目的、進め方、評価方法の説明、観光地理学の魅力と重要性 - 地理学の基本概念、自然地理と人文地理、地図の読み方、地理情報の活用 地図演習 - 世界の気候区分と主要な観光地域の気候、地形分類と景観 映像資料活用 - アジアの主要観光地域: 自然、文化、歴史、主要都市、世界遺産 事例研究 - ヨーロッパの主要観光地域: 自然、文化、歴史、主要都市、世界遺産 事例研究 - 南北アメリカの主要観光地域: 自然、文化、歴史、主要都市、世界遺産 事例研究 - オセアニア・アフリカの主要観光地域: 自然、文化、歴史、主要都市、世界遺産 事例研究 - 中間発表: 特定の海外観光地域に関する調査報告、質疑応答 発表演習 - 日本の観光地理総論: 地理的特徴、気候、植生、文化、歴史 - 日本国内の主要観光地域(北海道、東北、関東): 自然、文化、特産品、観光資源 地域別研究 - 日本国内の主要観光地域(中部、近畿): 自然、文化、特産品、観光資源 地域別研究 - 日本国内の主要観光地域(中国、四国、九州、沖縄): 自然、文化、特産品、観光資源 地域別研究 - 観光と地域: 観光が地域に与える影響、環境問題、持続可能な観光、エコツーリズム ディスカッション - 観光資源の理解: 自然観光資源、人文観光資源、観光資源の評価と開発 ワークショップ - 最終発表: 特定の日本国内観光地域に関する調査報告、質疑応答 発表演習 - まとめ: 観光地理学の全体像、質疑応答、今後の学習へのアドバイス
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	宅建 I
授業名(英語表記)	Real Estate Brokerage I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	10
授業回数	100
授業概要	授業内容:宅地建物取引士の資格取得を目標とし、不動産取引に関する基礎知識を学びます。宅建業法、民法、法令上の制限など、試験に必要な知識を習得します。担当講師は宅地建物取引士の資格を有しており、実務経験も豊富です。書類作成や契約業務にも携わってきた経験から、実践的な知識とノウハウを皆様に提供いたします。 到達目標:宅地建物取引士の資格取得に必要な知識を習得すること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1・宅建業法概要、宅建業者の免許、取引士 2・宅建業法、取引主任者の義務、重要事項説明 3・契約、契約の成立、解除 4. 民法、物権、債権 5. 借地借家法、不動産登記法 6. 法令上の制限、都市計画法、建築基準法 7. 税金、不動産取得税、固定資産税 8. 過去問題演習、模擬試験、試験対策
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2:対面出席率3:課題提出3:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	FP・金融
授業名(英語表記)	FP & Finance
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	5
授業回数	50
授業概要	授業内容:ファイナンシャルプランニング(FP)と金融に関する基礎知識を学びます。ライフプランニング、金融商品の種類と特徴、資産運用、保険、不動産、税金などについて学びます。 到達目標: FPと金融に関する基礎知識を習得し、個人のライフプランニングや資産設計に役立てられること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. FPの基本、ライフプランニングの手法 2. 金融商品の基礎知識、預貯金、債券、株式 3. 投資信託、外貨預金、保険商品 4. 不動産投資、ローンの仕組み 5. 資産運用、ポートフォリオ理論 6. 税金の種類と仕組み、所得税、住民税 7. 贈与税、相続税、税金対策 8. 事例研究、ライフプラン作成演習
成績評価方法	A 資格試験の取得状況4: 対面出席率2: 課題提出2: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	不動産実務
授業名(英語表記)	Real Estate Practice I
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	6
授業回数	60
授業概要	授業内容:不動産取引の実務を学びます。担当講師は不動産業界での豊富な実務経験を活かし、不動産売買、賃貸、仲介、管理など、不動産取引の流れや契約書作成、重要事項説明など、実務に必要な知識を実践的な視点から分かりやすく解説します。 到達目標:不動産取引の実務を理解し、不動産取引に関する業務ができるようになること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. 不動産取引の基礎知識、不動産の種類 2. 不動産売買の流れ、契約書作成 3. 重要事項説明、物件調査 4. 不動産賃貸の流れ、契約書作成 5. 賃料設定、更新、退去手続き 6. 不動産仲介、媒介契約、仲介手数料 7. 不動産管理、賃貸管理、建物管理 8. 演習、契約書作成、ロールプレイング
成績評価方法	B 対面出席率4:課題提出2:単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	宅建Ⅱ
授業名(英語表記)	Real Estate Brokerage II
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	12
授業回数	120
授業概要	授業内容: 宅建試験不合格者を対象に、合格に必要な知識定着、応用力、問題解決能力を養成。試験範囲重要ポイント再確認、過去問題・模擬試験演習を通じ、効果的解法、時間配分、間違いやすいポイントを指導。合格レベル到達をサポート。法改正・試験制度変更にも対応。 到達目標: 宅建試験全科目で合格知識を定着。過去問題・模擬試験で実践的問題解決能力と応用力を習得。効果的解法・時間配分で正確解答。自己弱点把握・克服計画実行。法改正・最新試験情報に対応。自信を持って再挑戦し合格達成。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1ガイダンス:本科目の目的、進め方、評価方法の説明、宅建試験再挑戦の心構え、学習計画策定 2宅地建物取引業法:重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 3民法(物権・債権):重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 4民法(相続・契約):重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 5法令上の制限(都市計画法・建築基準法):重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 6法令上の制限(農地法・その他):重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 7税・その他(不動産取得税・印紙税):重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 8税・その他(地価公示・その他):重要ポイントの再確認、過去問題演習、解答解説問題演習 9模擬試験(1回目):全科目を通じた実践的な模擬試験、自己の実力把握模擬試験 10模擬試験(1回目)の解答解説、弱点分析、個別指導個別指導 11分野別集中演習:受講生の弱点に合わせた集中的な問題演習と解説演習 12模擬試験(2回目):本番により近い形式での模擬試験、時間配分の確認模擬試験 13模擬試験(2回目)の解答解説、最終的な弱点克服指導個別指導 14直前対策:試験に向けた最終確認、時間配分、解答戦略のアドバイス、最新法改正情報共有質疑応答 15宅建試験試験日 16試験の振り返り、今後の展望、質疑応答
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2:対面出席率3:課題提出3:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	不動産実務Ⅱ
授業名(英語表記)	Real Estate Practice Ⅱ
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義
単位	3
授業回数	30
授業概要	授業内容：不動産取引の実務に関する応用的な知識と技能を習得する。不動産売買、賃貸、仲介、管理、不動産投資、不動産コンサルティングなど、様々な業務について具体的な事例研究や演習を通して学ぶ。契約書作成、重要事項説明、権利関係の調査、税務に関する知識なども習得する。 到達目標：不動産取引の実務に関する応用的な知識と技能を習得し、不動産取引に関する様々な業務を遂行できる。契約書作成や重要事項説明など、実務に必要な書類作成ができる。権利関係や税務に関する知識を理解し、適切なアドバイスができる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	重要事項説明書とは：個別指導 重要事項説明書作成：作成、個別指導 単位認定試験
成績評価方法	B 対面出席率4：課題提出2：単位認定試験4
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	知能科目対策
授業名(英語表記)	Aptitude Test Preparation
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	7
授業回数	70
授業概要	授業内容:公務員試験における知能科目の対策を行います。数的処理、文章理解、判断推理、資料解釈など、論理的思考力や分析力を問われる科目の対策を行います。 到達目標:公務員試験の知能科目で高得点を獲得できる論理的思考力や分析力を身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. 数的処理 ・数の性質 ・割合と比 ・損益算 ・速度算 ・仕事算 ・場合の数と確率 2. 文章理解 ・現代文読解 ・古文読解 ・英文読解 3. 判断推理 ・論理 ・位置関係 ・図形 ・順序関係 4. 資料解釈 ・表やグラフの読み取り ・データ分析 5. 模擬試験 ・知能科目模試 ・解説 6. 過去問演習 ・過去問解説 7. 弱点克服
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2:対面出席率3:課題提出3:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	知識科目対策
授業名(英語表記)	Knowledge Test Preparation
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	7
授業回数	70
授業概要	授業内容: 公務員試験における知識科目の対策を行います。法律、政治、経済、社会、歴史、地理、時事問題など、幅広い分野を網羅的に学習します。 到達目標: 公務員試験の知識科目で高得点を獲得できる知識を身につけること。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1. 法律 ・日本国憲法 ・行政法 ・民法 ・刑法 2. 政治 ・政治学 ・日本政治史 ・国際関係 3. 経済 ・経済学 ・日本経済史 ・財政学 4. 社会 ・社会学 ・社会保障 ・労働問題 5. 歴史 ・日本史 ・世界史 6. 地理 ・日本地理 ・世界地理 7. 時事問題 ・最新のニュース解説
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2: 対面出席率3: 課題提出3: 単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	基礎演習
授業名(英語表記)	Basic Seminar
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	7
授業回数	70
授業概要	授業内容:公務員試験合格に必要な基礎学力を養成します。知能科目・知識科目の基礎事項の確認、問題演習、答案作成指導など、実践的な演習を行います。 到達目標:公務員試験合格に必要な基礎学力を身につけ、実践的な問題解決能力を養うこと。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	・基礎学力確認 ・基礎学力テスト ・弱点分析 ・数的処理演習 ・基礎問題演習 ・応用問題演習 ・文章理解演習 ・読解演習 ・要約練習 ・知識科目演習 ・テーマ別演習 ・記述式問題対策 ・答案作成指導 ・答案作成のポイント ・添削指導 ・模擬試験 ・総合模試 ・解説 ・グループワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション ・面接対策 ・面接練習 ・模擬面接 ・振り返り
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2:対面出席率3:課題提出3:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	応用演習
授業名(英語表記)	Advanced Seminar
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	8
授業回数	80
授業概要	授業内容:公務員試験合格に必要な基礎学力を身につけた上で応用問題に対応できる力を身につけます。 知能科目・知識科目の応用問題の解法確認、問題演習、答案作成指導など、実践的な演習を行います。 到達目標:公務員試験合格に必要な基礎学力を身につけるとともに、実践的な問題解決能力を養うこと。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1ガイダンス:本科目の目的、進め方、評価方法の説明、公務員試験の概要と応用対策の重要性 2知能科目応用問題の解法確認(数的推理、判断推理):基本的なアプローチと頻出パターンの理解問題演習 3知能科目応用問題演習(数的推理、判断推理):過去問題やオリジナル問題を用いた実践的な演習ループワーク 4知能科目応用問題の解法確認(空間把握、資料解釈):図形問題や統計データの読み解き問題演習 5知能科目応用問題演習(空間把握、資料解釈):過去問題やオリジナル問題を用いた実践的な演習ループワーク 6知識科目応用問題の解法確認(政治、行政、法律):重要概念の理解と応用問題への対峙事例研究 7知識科目応用問題演習(政治、行政、法律):過去問題やオリジナル問題を用いた実践的な演習ースタディ 8知識科目応用問題の解法確認(経済、社会):マクロ・ミクロ経済、社会問題へのアプローチ事例研究 9知識科目応用問題演習(経済、社会):過去問題やオリジナル問題を用いた実践的な演習ースタディ 10総合問題演習:知能科目・知識科目を組み合わせた実践的な総合問題に挑戦模擬試験 11答案作成指導:記述問題や論文問題における効果的な答案の構成と表現方法個別指導 12弱点克服演習:受講生の苦手分野に合わせた集中的な問題演習と解説演習 13直前対策:試験に向けた最終確認、時間配分、解答戦略のアドバイス質疑応答 14模擬試験と解説:本番を想定した模擬試験を行い、詳細な解説とフィードバックを実施
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2:対面出席率3:課題提出3:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業名	行政職・警察官・消防官対策
授業名(英語表記)	Preparation for Public Service, Police Officer, and Firefighter Examinations
実務家教員授業	
学科	ビジネスキャリア学科Ⅱ部
履修年次	2年次
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位	7
授業回数	70
授業概要	授業内容:本科目では、行政職、警察官、消防官の採用試験合格を目指し、各職種に特化した知識、技能、体力、適性などを総合的に養います。筆記試験対策、論文・面接指導、体力・適性試験の実践的な演習を通じて、本番で最大限の力を発揮できる準備を行います。 到達目標: 各職種(行政職、警察官、消防官)の採用試験に求められる知識、技能、体力、適性などを総合的に習得する。 筆記試験(教養科目、専門科目)において、合格に必要な得点力を身につける。 論文試験や面接試験において、自己の効果的なアピール方法を習得する。 体力試験や適性試験において、合格基準をクリアできる能力を養う。 最新の試験情報や各職種の動向を把握し、試験本番に向けて最適な準備ができるようになる。
教科書	テキスト・問題集・プリント
授業計画	1ガイダンス:本科目の目的、進め方、評価方法の説明、各職種(行政職、警察官、消防官)の採用試験概要 2各職種共通:教養科目対策(数的推理、判断推理、空間把握、資料解釈)応用演習過去問題・オリジナル問題演習 3各職種共通:教養科目対策(政治、行政、法律、経済、社会、人文、自然)応用演習事例研究・ケーススタディ 4行政職対策:専門科目(憲法、行政法、民法、経済学、財政学など)応用演習過去問題・オリジナル問題演習 5警察官対策:専門科目(警察法、刑法、刑事訴訟法など)応用演習過去問題・オリジナル問題演習 6消防官対策:専門科目(消防学、建築学、物理学、化学など)応用演習過去問題・オリジナル問題演習 7論文試験対策:効果的な論文の構成、表現方法、テーマ別演習答案作成指導・個別添削 8面接試験対策:自己分析、志望動機、自己PR、模擬面接演習ロールプレイング・個別指導 9体力試験対策:各職種に求められる体力要素の理解、トレーニング方法、実践演習演技指導・トレーニング計画作成 10適性試験対策:試験内容の理解、対策方法、模擬試験演習模擬試験・解説 11総合問題演習:各職種の採用試験を想定した総合的な問題演習模擬試験形式 12弱点克服演習:受講生の苦手分野に合わせた集中的な問題演習と解説個別指導・演習 13直前対策:試験に向けた最終確認、時間配分、解答戦略のアドバイス、最新試験情報共有・懸念応答・情報提供 14模擬試験と解説:本番を想定した模擬試験を行い、詳細な解説とフィードバックを実施模擬試験・解説・個別フィードバック
成績評価方法	C 資格試験の取得状況2:対面出席率3:課題提出3:単位認定試験2
成績評価基準	総合成績90点以上を「秀」、80点～89点を「優」、60点～79点を「良」、50点～59点を「可」、50点未満は「不可」の5段階評価とする。